

集団言語リハビリ交流教室

失語症・運動性構音障害のある方とその家族を対象に、社会参加に向けた交流教室を開催しています。

『言語障害があっても安心して会話ができる場』

『ことばの障害に差はあっても、その人がもつ能力を引き出すことができる場』

『社会参加に繋がるような話題を提供・共有する場』

といったことをモットーにした教室です。

教室では最近のニュースについて話したり、近況報告をしたりすることで、参加者同士の交流を深めながら楽しくコミュニケーションを行っています。

まずは見学だけの参加も可能です！ご興味のある方はぜひ、ご参加ください。

◆ 対 象

・市内に居住の在宅の失語症・運動性構音障害のある方とその家族

(主に、医療機関でのリハビリテーションを終了された方)

**参加費
無料**

◆ 場 所／開催日時

- | | | |
|-----------------------|-----------|-----------------|
| ・総合保健福祉センター（アシスト21）3階 | 第1・2・3木曜日 | 9:30～11:45 |
| ・西部障害者福祉会館（コムシティ5階） | 第1・2 | 金曜日 10:00～11:45 |
| ・若松区役所 | 第4 | 木曜日 9:30～11:00 |



音声言語にこだわらず、書字・地図・コミュニケーションノートなどを活用して、その人のもつ能力を最大限に使ってやりとりを行っています。

主なプログラム

① 最近のニュースなどを用いた話題

時事に関心を持ち、社会参加のきっかけになるような話題提供を行い、やりとりを行っています。

② 参加者の皆様からの近況報告など

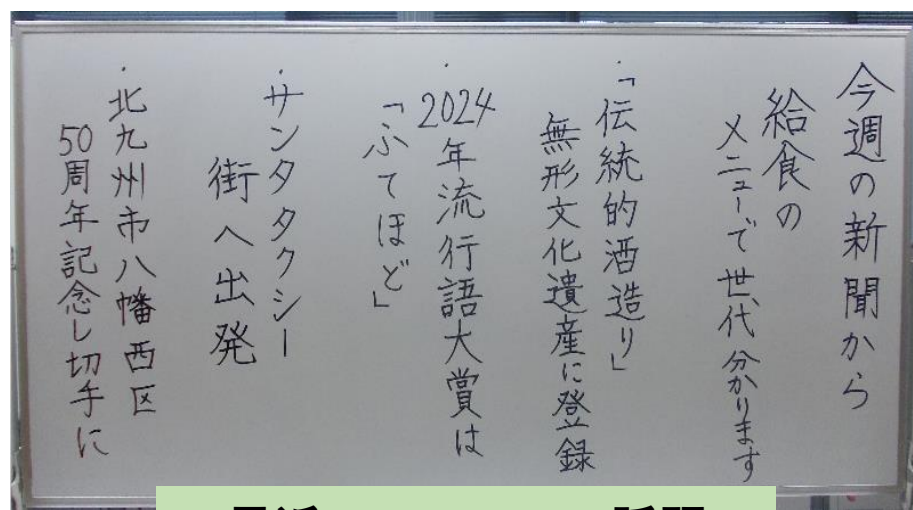
近況報告や季節に関係のあることばを集め、やりとりを行っています。

③ 社会参加体験交流教室

活動の場を広げるため、年に1度、外部の施設で買い物や施設見学を行っています。



やりとりの場面



最近のニュースの話題



公共交通機関を用いた外出の支援場面

参加者の方の感想



教室は和気あいあいとした雰囲気です、楽しく参加しています。
参加者の方が増えて欲しいと思っています。
気兼ねなくご参加ください！



なかなか言葉が出なくても、皆さんが待ってくれるので、安心して会話をすることができます。

失語症の主な言語症状



【話すこと】

- ・言いたい言葉が浮かばない
- ・思ったことと違うことを言うてしまう(眼鏡→時計など)



【聞くこと】

- ・聴力に問題はないが、言葉の意味が理解できない
- ・長い文が理解できない



【書くこと】

- ・文字を思い出せない
- ・特に仮名が難しい
- ・書き誤りがある



【読むこと】

- ・言葉の意味が理解できない
- ・長い文が理解できない

言語障害のある方とのコミュニケーションの取り方など、支援者の方向けのご相談や研修会も行っています。
交流教室参加のお申込みやご相談は地域リハビリテーション推進課までお願いします。

北九州市 保健福祉局 地域リハビリテーション推進課
〒802-8560 北九州市小倉北区馬借一丁目7-1

☎ 093-522-8724 (月～金 8:30～17:15)